

「課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業」

グローバル展開プログラム最終評価結果表

課題	C : グローバル人文学 : 日本文学・芸術・思想の普遍性の探求
研究テーマ名	絵ものがたりメディア文化遺産の普遍的価値の国際共同研究による探求と発信
研究代表者	阿部 泰郎
所属機関・部局・職	名古屋大学・高等研究院・客員教授
研究成果の総合評点 : A	
研究成果に係る所見	
<p>本研究は、絵巻等に関する研究を「絵ものがたり」メディア文化遺産としてとらえ、海外に流出した作品を含め、海外の研究者と連携して国際的な共同発信を展開するものである。これまでの研究蓄積に基づくテーマの掘り下げや国際的なネットワークなど、着実に優れた成果を生みだしている。しかし強いて言えば、次の2点において一層の整備が期待される。第一は、研究組織の成員としてのアジアからの参加者及びアジアとの比較がやや不十分だと思われる点で、これは特に中国絵画との比較や中国の研究者の参加が重要であろう。第二に、「高度デジタルコンテンツの多言語汎用版」などデジタル化された成果の存在が報告されているが、どこでどのように集約され公開されているのか必ずしも明確ではないので、改善を期待したい。</p>	

※ 「研究成果の総合評点」に対する標語は下記のとおり。

- S. 研究目的に照らして、期待以上の成果があった
- A. 研究目的に照らして、期待どおりの成果があった
- B. 研究目的に照らして、十分ではなかったが一応の成果があった
- C. 研究目的に照らして、十分な成果があったとは言い難い